

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 世界に選ばれる持続可能な観光地周遊化実現事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光文化スポーツ政策課 サステイナブル・ツーリズム推進室
サステイナブル・ツーリズム推進係 電話番号：058-272-1111(内3915)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 50,000 千円 (前年度予算額： 75,000 千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	75,000	37,500	0	0	0	0	0	0	37,500
要求額	50,000	25,000	0	0	0	0	0	0	25,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

「持続可能な観光」が世界の潮流となる中、昨年、国内で唯一、世界観光機関が主宰する持続可能な観光地づくり国際ネットワーク (INSTO) に加入した本県では、「世界に選ばれる持続可能な観光地」の証となる国際認証 (GSTC-D準拠) の取得地域を5年連続で輩出し、誘客効果を上げている。

現在、飛騨圏域を中心に国際認証取得地域が分布しており、これを県南部地域に拡大することで、県内全域を「世界に選ばれる持続可能な観光地」として周遊させ、さらなる誘客促進及び観光消費額の拡大につなげる。

(2) 事業内容

国際認証を取得する地域への支援の重点化事業 (50,000千円)

- ・持続可能な観光の国際指標に基づき観光地づくりを進める地域における、国際認証取得や認証取得にあたっての課題分野の改善への支援
- ・国際認証を取得している地域における、持続可能な観光の国際指標に基づく課題分野の改善への支援
- ・持続可能な観光の国際指標に基づき、地域の利害関係者が一体となった持続可能な観光地づくりに資する取組への助成

【補助対象者】

- ① 市町村
- ② 観光協会等（観光協会、観光振興に取り組んでいる団体）
- ③ 観光地域づくり法人等
※観光庁の「登録DMO」、「候補DMO」登録法人、
「候補DMO」登録申請予定の法人
- ④ 次に掲げる者のいずれかで構成する観光関係協議会等
 - (1) 複数の市町村
 - (2) 市町村及び観光関係事業者
 - (3) 複数の観光関係事業者
(ただし、市町村から助成又はそれと同等の支援を受けていること。)
 - (4) その他知事が補助事業者として特に認める者

（３）県負担・補助率の考え方

■持続可能な観光の国際指標に基づき観光地づくりを進める地域、かつ国際認証を取得している地域

補助率：2／3以内、上限：5,000千円

■持続可能な観光の国際指標に基づき、地域の利害関係者が一体となった持続可能な観光地づくりを行う地域

補助率：1／2以内、上限：5,000千円

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	50,000	・国際認証を取得する地域への重点支援 ・持続可能な観光の国際指標に基づく観光地づくりの取組み支援
合計	50,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり
- 岐阜県経済・雇用再生戦略
 - 6 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりプロジェクト
＜サステイナブル・ツーリズムの推進＞
 - (1) 地域資源の保全・活用による観光地域づくり

（２）国・他県の状況

岐阜県独自の事業である

（３）後年度の財政負担

県内全域にわたる持続可能な観光地域づくりの一環であり、今後も継続する

（４）事業主体及びその妥当性

複数の事業者による地域一体的な取組を支援するものであり、妥当

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	世界に選ばれる持続可能な観光地周遊化実現事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、観光協会、観光関係協議会、観光事業者
補助事業の概要	県下全域への持続可能な観光の普及・啓発 国際認証を取得する地域への支援の重点化
補助率・補助単価等	<p>定率 (内容)</p> <p>補助率 2/3以内、上限5,000千円 (国際認証済地域)</p> <p>補助率 1/2以内、上限5,000千円 (上記以外の地域)</p> <p>(理由)</p> <p>世界に選ばれる持続可能な観光地づくりの全県拡大、周遊化を実現するため、持続可能な観光の国際認証（GSTC-D等）の仕組みを活用し取組みを行う地域について、岐阜県観光振興事業費補助金の「世界に選ばれる持続可能な観光地周遊化実現事業」の上限額内の事業費を補助する。</p>
補助効果	持続可能な観光地づくりの全県展開（地域偏在の是正） 観光誘客及び観光消費額の増加
終期の設定	終期 令和9年度

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

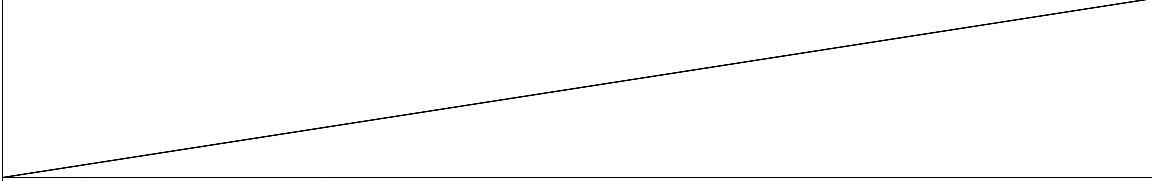
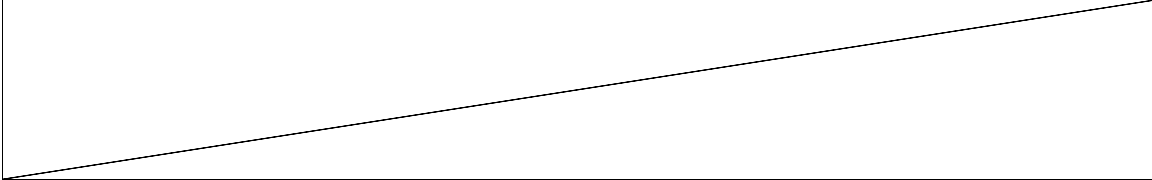
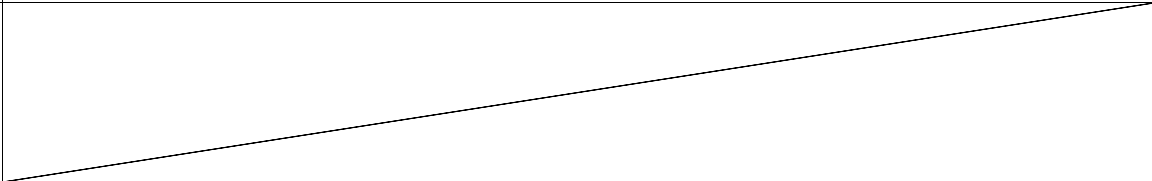
県下全域への持続可能な観光地の普及・啓発、専門人材の育成、県南部を念頭においた新たな国際認証取得等への支援により、延べ10地域において国際認証を取得する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		4,013億円	3,300億円	3,450億円	3,600億円	111.5%
②観光入込客数 (実数)		4,470万人	4,900万人	5,100万人	5,300万人	84.3%
③国際認証取得 地域数（延べ 数）		7地域	8地域	9地域	10地域	70.0%

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	持続可能な観光が世界的な潮流となる中、岐阜県が国際的な観光地としての地位を確立するため、国際的な評価基準に基づき、オーバーツーリズム対策などのマネジメント体制の構築を推進する本補助金は必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	国際認証(GSTC-D準拠)を申請した地域が県内で着実に増加しており、観光地の持続可能性に関する取り組みが地域全体に広がっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	県内市町村に対して適宜ヒアリングや情報共有を行い、必要な支援について情報収集している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から選ばれるデスティネーション(旅先)となるためには、サステナブル・ツーリズムの推進が不可欠。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、本県のサステナブル・ツーリズムの核として事業を展開する。
--